

—ノーベル賞の闇裏側事情<世襲貴族没落防止同盟としての政治機能(1)>— '08/12/20.
既成世襲権力(典型が戦犯天皇家、世界皇族は没落防止同盟に,同賞はスウェデン皇室授与)
の**真相隠し学者**の抱きこみだ。一例を言えば**素粒子物理学者**3人に数千万賞金が支払われ
るが、どっこい我等国民は彼等に**血税 666 億円**(高エネルギー研大強度陽子加速器 J-
PARC(2002~2008))もの**無駄実験設備費用**を払ってるなどとは夢想だにしないだろう。

—素粒子物理学基礎は1993年春に完成、同年秋米国12000億円実験計画中止!—

ここで物理学基礎を紹介、本質的な筋論理だけなので素人にも“想像”がつきます。
物理量を測るに物差し=ゲージが必要になる。所が長さ単位は各国まちまちだが支障は
ない。多国間では**変換公式**がある。本質は=(等しい)、何倍かとか大小比較だけだ。

(1)物質世界の舞台である(3+1)次元空間空間の法則<特殊相対性理論>。

物質運動は時空間に張られた物差し=**直交座標系**($x, y, z; t$)で記述される。然るに自然界
の原因結果の**最大伝播速度は有限定数**(真空中光速)である事から加速度を持たない名
種速度で動く**慣性座標系**の間の座標変数は相互に変換規則で繋がる<大局ロレンツ変換>。
物理法則とはこの物差し変換で不変本質な内容だけになる<基礎方程式の形式不変>。

(2)万物統一の力=重力は加速度(非慣性系)と等価<アインシュタインの等価原理(1907)>。

エレベタに閉じ込められた人はエレベタが加速運動しても、仮想的に重力が増大しても
いずれかが判別できない。**加速度と重力は等価**と言う大発見(1907)が究極本質です!

(3)等価原理を数学表現する<内山龍雄の一般ゲージ原理(1956)>。

(a)素粒子世界を計る上での基本対象は(波動)状態関数と言われる数学表現だが、これには
長さ単位相当の任意性がある。**対応する変換公式があるのだが本質物理量はこの変換で
不変な物(基礎方程式不変性と観測量)だけが本物と言う事になる<ゲージ不変性原理>。**

(b)内山はゲージ不変性が時空間の名点毎に成立するとして**局所ゲージ不変原理**を提唱。

即ち時空間の各点が各国国籍を持つのだ。それに関して物理量不変性を要求すると自動
的に**素粒子相互作用の力**= $\{$ 電磁力 $U(1)$, 原子核に働く弱力 $SU(2)$, 強力 $S(3)$ $\}$ を**全導出**。

(c)**非慣性系(重力場)**も局所ロレンツ変換不変と要請する事で**重力相互作用** $SO(N; 1)$ も表現。

☞: 当時, 重力場を曲線座標系表現した結果、(b)と(c)は異形式。だが直交座標では完全同一
形式(**重力の一般ゲージ原理化(1993筆者)**、重力は空間歪みとする一般相対論は近似論?。

(d)リー代数(純数学)定理から $SO(11; 1) \rightarrow SO(11) \rightarrow SO(10) \rightarrow SU(5) \rightarrow SU(3) \times SU(2) \times U(1)$ 。

上各記号は変換内容の数学表現で力=相互作用と関与する素粒子を規定する。

宇宙創始当初の量子重力は宇宙膨張と温度低下で相互作用力がこの時系列で分岐発生。

(4)Faddeev-Popovの一般ゲージ場量子化原理(1967):

上記までの理論は**量子化**と言う付加手続きで素粒子論に完全対応する。即ち(3)(4)を統合
すると素粒子全貌が決定(**統一場論完成→実験無用化**)。宇宙創始、 $SO(11; 1) \rightarrow SO(11)$ は
純ゲージ場動力学としての相転移として“人為的仮説模型抜き”で説明される(1995)。

これは記号論理, 真理は証明可能(公理演繹体系)で保証された事ですく**ゲデル定理**。